

## 日本での交換留学

啓明大学校

ソスジ

韓国の啓明大学校からお茶の水女子大学に2023年4月から9月まで交換留学に来たソスジと申します。もう一年の半分が過ぎ、もうすぐ交換留学が終わることなんてまだ実感がわきません。半年間の日本での留学生活は新しさと楽しさがいっぱいでした。

私は日本語専攻ではなく、今まで一人で日本語の勉強をしていたので授業を受けて日本語で話すことが初めてでした。そして一人暮らしも初めてだったので緊張しましたが、日本でたくさんの人々と出会って韓国では経験できないことをしながら色々なことを学びました。

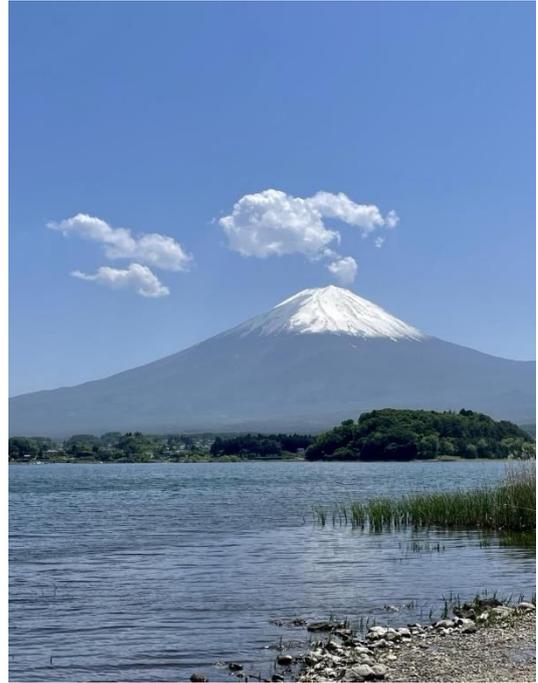
私はほとんど留学生授業を受けました。留学生授業は発表が多いですが、日本という国の文化や色々なテーマについて他の留学生の皆さんとディスカッションしながら新しい考えを知ることができました。一番記憶に残る授業は‘日本事情演習4A’です。日本人学生と一緒に受ける授業で、‘多文化交流論’という名前で障がい者、ジェンダー、外国人、被差別部落民に関する共生社会、社会問題について学びます。グループになって色々なディスカッションや発表もしました。私は韓国で



多文化に関する授業を受けたことがなく授業の内容も社会に関する問題だったので難しかったです。お茶の水女子大学だからこそ学べる授業だと感じました。そして社会に関して狭かった私の視野をもっと広くしてくれた授業でした。

日本で生活しながらたくさんを経験しました。学校の国際教育センターで行ったゆかた教室に参加して日本の伝統衣装を着てみました。初めてディズニーに行きました。夢のような空間でした。好きなアイドルのコンサートに行ったり、

旅行の時に偶然会ったこともありました。そして東京以外にも山梨県へ富士山を見に行きました。そして名古屋、沖縄に行ってきました。沖縄はすごく暑かったですが、海がとても綺麗でした。お茶の水女子大学は東京中心にあり、池袋や渋谷、新宿など東京都内の色々な所に行くことが便利でした。‘tandem’というプログラムに参加して日本人学生とお互いの言語を勉強しました。昔からの目標だった外国での生活を交換留学という機会が叶えました。今の交換留学の生活は一生忘れない、幸せの期間です。



最後に、私の交換留学の生活を助けてくださった方々に感謝を申し上げます。私の指導教官になってくださった森山先生、交換留学生のHRを担当してくださった萩原先生、国際科の大野さん、寮の管理人さん、そして留学生授業を担当してくださった先生、本当にありがとうございました。